

兵庫県水産技術センターだより

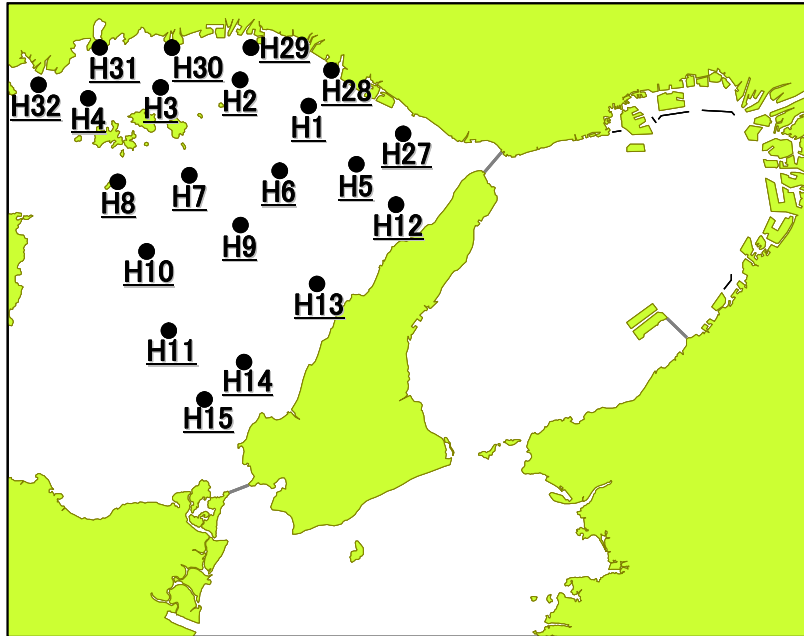
赤潮情報 AK-02-16 号 (播磨灘全域)

令和2年9月1日

8月31日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域:定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンの出現はごくわずかでした。

・播磨灘中央部～家島諸島周辺海域を中心に、**明るい褐色～白色のパッチ状の着色が確認されました。着色の原因は、植物プランクトンや動物プランクトンの遺骸や海中の細かなゴミ(デトライタス)が集まった「ヌタ」状の粘性有機物が中心です。顕微鏡観察では特に有害種は含まれていませんでしたが、漁網等の汚損を引き起こす場合がありますのでご注意ください。**また、念のため、着色海域での活魚運搬はご注意下さい。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制: 10細胞/ml 警戒体制: 100細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制: 500細胞/ml 警戒体制: 5,000細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制: 50細胞/ml 警戒体制: 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・カピタ	シャットネラ・クロボサ	シャットネラ・ベキコロサ	コロディウム・ポクロイテス	ヘテロガム・アガオ
H1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H7	0	0	0	0	0	0	0	2	0
H8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	0	0	0	4	0
H27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	1	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	3	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	1	0
H32	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

・今年度の定期調査は今回で終了します。臨時調査を実施した場合は別途お知らせします。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当:水産環境部 宮原、中桐)
Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604 Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>